学校番号	1008

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	(学)総合素描Ⅰ	単位数	２単位	年次	2.3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

造形表現の基礎となるデッサンを学習する。形態や質感を的確に表現できるようにする。

2　学習の到達目標

・形体を観察する真摯な態度を重視する。
・鉛筆を用いた描写方法の基本を身につける。
・優れた作品を鑑賞し、自己の表現の幅を広げる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・モチーフの形体を適切に捉え、画用紙に描き出すことができている。 ・鉛筆や練り消しゴムなど描画に必要な道具を適切に使い分け、描き出すことができている。	・様々なモチーフを描く中で、そのモチーフにあった適切な大きさや形、質感を捉えようとする。 ・モチーフに合わせて、描画用具の使い方を工夫しようとする。	・与えられたモチーフを積極的に捉え、真摯な態度で描画表現に主体的に取り組むことができる。 ・自分の作品や他者の作品を観て、積極的に鑑賞しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	基本的なモチーフの描写	・鉛筆による明暗諧調表現 ・幾何学形体のデッサン ・作品鑑賞	a： 画面の構成や大きさ、明暗の調子の違いを描き出すことができるか。 b:　描画用具の使い方を工夫することができているか。 C：自分の作品や他者の作品の鑑賞活動に主体的に取り組もうとしているか。	エスキース	作品	振り返りシート 鑑賞 レポート
2	様々な質感のモチーフの描写	・質感を重視したデッサン ・大きな物のデッサン ・レタリングの入ったデッサン ・濃い物のデッサン ・作品鑑賞	a： 画面の構成や大きさ、明暗の調子の違いを描き出すことができるか。 b:　描画用具の使い方を工夫することができているか。 C：自分の作品や他者の作品の鑑賞活動に主体的に取り組もうとしているか。	エスキース	作品	振り返りシート 作品 レポート
3	複数モチーフの描写	・不定形物のデッサン ・複数モチーフのデッサン ・作品鑑賞	a： 画面の構成や大きさ、明暗の調子の違いを描き出すことができるか。 b:　描画用具の使い方を工夫することができているか。 C：自分の作品や他者の作品の鑑賞活動に主体的に取り組もうとしているか。	エスキース	作品	振り返りシート 作品 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度